

佐渡生きものの語り 作品集 2020





朱鷺と暮らす島 生物多様性佐渡戦略 キャッチコピー

佐渡でふれあういのちのつながり ～人とトキが暮らす島を孫の世代へ～

みなさんは「生物多様性」という言葉を知っていますか？
生物多様性とは「生きものたちの豊かな個性とつながり」のことです。

私たち人間は、地球という大きな生態系の一員であり、私たちの暮らしは、様々な生きものが関わり合い、得られる恵みによって支えられています。

佐渡の豊かな自然や文化を保全・再生し、佐渡で育まれた多くの生きものと私たちが共生する環境を後世に渡って継承していくために、佐渡市では、平成24年6月に「トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略」が創られました。

佐渡の生物多様性を「知る・守る・使う」ことで、自分たちの子供や孫の代まで繋いでいく取り組みです。

「佐渡生きもの語り」について

佐渡では、「トキが餌に困らないように」を合言葉に、田んぼに生きものが増える工夫をした米づくりに取り組んでいます。これが「朱鷺と暮らす郷」認証米です。

認証米を始めてからは、田んぼに稲の様子を見に行ったとき、生きものにも目が行くようになったとおっしゃる農家さんは、「前より生きものが増えてきたんだよね」と嬉しそうな様子でした。

認証米農家は毎年2回、自分の田んぼの生きもの調査をして、記録を残しています。そしてもう一つ、より多くの方たちに田んぼで暮らす生きものを知ってもらうために、川柳や写真、イラストなど自由な表現方法で、佐渡で見つけた生きものたちのことを語る「佐渡生きもの語り」の取り組みを続けています。

ここに作品を寄せてくれるのは農家さんだけでなく、地元の学生さんや佐渡に来てくれた観光客の方、それから田んぼの環境学習の生徒さんなど様々です。皆さんが、トキがいて、色々な生きものがある、この佐渡のすばらしさを表現してくださいました。

さあ、「佐渡生きもの語り2020」を、どうぞご覧ください！



Photo: S.Saito

川柳部門
グランプリ作品

虫たちに
ごめんどいてと
草を刈る

中野弘樹
(埼玉県)

【選考委員より】

実際に草刈りをしている農家の気持ちを代弁しているようです。特に「ごめんどいて」という言葉に、草刈りが終わったらまた、田んぼの畦畔に戻ってきてねと言っているように温かい気持ちになる作品でした。(渡部)



Photo: M.Oh-Ishi

準グランプリ作品

サドガエル

棚田消すなど
大合唱

ほのぼの
(神奈川県)

【選考委員より】

佐渡のあるがままの風景と生物との調和が織りなしている豊かな優しい自然が、崩れ行くことへの警鐘を鳴らしてくれました。

そしてまた、作者が生まれた佐渡を離れておられる方であれば、望郷の念と佐渡の環境への愛情が感じられます。(本間)



Photo: M. Oh-Ishi



自慢です 僕のふるさと トキがいる

島根のぼん太（島根県）

【選考委員より】

海を背景にした棚田を悠々と飛ぶトキが力強く描かれていて、佐渡とトキへの思いが伝わってくる素晴らしい作品です。（澤栗）



今度いつ 帰るのと聞く サドガエル

中年やまめ（神奈川県）

【選考委員より】

絶滅危惧ⅠB類のサドガエル君。仲間が少なくなって心細いのかな。（金子）

エッセイ部門 グランプリ作品

「育む佐渡で生きる」

北に大佐渡

南に小佐渡 仲を取り持つ国府川、

花も多いが生き物も

周りの海に恵まれて、

断崖絶壁

歴史を語る 生き物育む農法は今注目の的となり

自然豊かなこの町で

余生を過ごしてみたいなあ

あきしげる

(福岡県)

【選考委員より】

佐渡島が取り組む、ジ阿斯・ジオ・世界遺産。佐渡の自然・環境・文化・伝統などの価値を良く捉えてくれていて、とても嬉しい作品でした。是非、将来は佐渡島でお暮らし下さい。(大石)

川柳部門ノミネート作品

干されても うま味増します 俺とイカ

何とまあ 着いて十分 トキに会え

朱鷺は佐渡 佐渡は朱鷺だと 国自慢

マスク越し 田んぼアートの トキにほっ

アマサギに 励まされてる トラクター

波乗りの 稲穂の上の アキアカネ

共生は コロナじゃなくて トキがいい

畦道を 歩いただけで もう凶鑑

ご対面 畔の草刈り サドガエル

稲穂みち トキが落とした 白い羽根

虫飛びで ツバメ舞い入る 認証田

毎朝の 田守りで出合う トキの群れ

※ノミネート作品とは

選考委員により全応募作品から選ばれた作品です。これらノミネート作品から、認証米農家、寄らんか舎、エーコープ羽茂店の来店者による投票でグランプリが選ばれました。

島根のぼん太

加藤哲也

フーマー

ふーみん

板垣光行

板垣光行

だいちゃんZ！

だいちゃんZ！

中野弘樹

大原悠真

佐々木勲

土屋一之

川柳部門 応募作品

水辺では かえるの合唱 中止なし

吉良裕紀夫

農作業 ほっとひと息 虫たちと

吉良裕紀夫

朝霧の オモダカ一輪 嬉しそう

浅木達夫

はぐれ朱鷺 コロナ嫌って 西方へ

浅木達夫

トキが舞い 豊かな自然が 島包む

乳母車の弥七

千枚田 広がる日本の 原風景

乳母車の弥七

豊かな四季 ころとキめく 大自然

乳母車の弥七

海山の 色香匂える 佐渡に朱鷺

フリージア

里人と 風土に馴染む 佐渡の朱鷺

フリージア

散歩道 ほらここ誘う キタキチョウ

フリージア

人は減り トキがはびこる 佐渡ヶ島

後藤昭

佐渡の人 心広いよ さあどうぞ

坪田保

周りにいる生きもの
の調べてみるの
じゃー！

生物多様性ポイント①

「佐渡市生きもの調査の日」

佐渡市では、佐渡の生物多様性豊かな環境を、市民一人ひとりが理解するために、平成22年6月に「佐渡市生きもの調査の日」を宣言し、毎年6月第2日曜日と8月第1日曜日に、全島で田んぼの生きもの調査を行っています。

農家だけでなく、子ども達や市民も参加し、佐渡の環境を支える「小さな命」に目を向ける取り組みです。



ドクター イキモン

北山を 映す植田の 静もりて 蛭ゆう悠と 飛ぶがに泳ぐ 生田和代

夕方に 補植終え 腰を伸ばせば トキ巢に帰る 加藤慎一

雨上がり 一斉に飛び交う トンボたち ごちそう捜しは 競争だ 斉藤孝夫

コロナ禍に 行きたし行けぬ 故郷の 朱鷺舞う島は 秋となるらむ めんたいこ

夕日浴び ねぐらに帰るトキの群れ 羽色に癒され 我も帰路へ 本多治雄

炎天下 草刈りにエール ツバメたち 本多治雄

空を舞い 大地を走り 海をいく 生きとし生きる 潮生みしもの 飯草恵子

マヒマヒの ような顔せず 佐渡の海 泳ぐは紛う 方なきシイラ 遠藤玲奈

学名に 日本の名前 頂けど 滅びし過去を 亡霊が飛ぶ 北条暦

自然には 滅びし朱鷺を 輸入して 甦らせる 過疎の山野も 北条暦

佐渡の朱鷺 滅びの歴史を 遡り 飼われて二世の 誕生に湧く 北条暦

自然にて 滅びし朱鷺の よみがえる 世を改めて 種は保たれぬ 北条暦

まぼろしの 朱鷺野を飛べば 流したる 汗報われて 新潟は佐渡 北条暦

滅びたる 朱鷺を戻さん 尽力を 続けて再び 天に舞う日々 北条暦

朱鷺の飛ぶ 夢を果たして 安堵する 甲斐のある日々 思えば熱く 北条暦

新潟に 朱鷺を再び 飛ばしたる 長き努力に 謝する我かな 北条暦

いつか会い 朱鷺を飛ばせし 尽力に 酒を注ぎたし 名も讃えたし 北条暦

青田に鳴く 声高らかに 佐渡蛙 見上げる空の 青さに理由 細江隆一

佐渡にしか 住まぬ偏屈 佐渡蛙 見上げる空の 青さに理由 細江隆一

佐渡を舞う 朱鷺復活へ 歩む道 赤らめた 頬朱鷺似たり 笑う君 婚約告げた 秋風の佐渡 細江隆一

大人旅 佐渡の絶景 独り占め 大人旅 佐渡の絶景 独り占め 佐藤良人

トキの島 トキもときどき 時を待つ トキの島 トキもときどき 時を待つ 佐藤良人

雪の上 わいわいYY跳びはね サドウサギ 雪の上 わいわいYY跳びはね サドウサギ 佐藤良人

佐渡といえは 何はさておき 佐渡情話 まことの心 継ぐ佐渡の人 三太夫

自然の美 草木もなびく 佐渡の旅 自然の美 草木もなびく 佐渡の旅 三太夫

おけさ踊り 一目観たさに 船に乗る 三太夫

幼な子が 見上げた空に アキアカネ 荒木一博

梅雨空に トキが飛び交う 佐渡ヶ島 加藤哲也

トキが舞い おけさ踊りの 佐渡の人 加藤哲也

翔べよ飛べ 滅びし朱鷺の よみがえる 倉石譲

朱鷺の餌も 十分採れる 野に戻す 倉石譲

朱鷺の舞う 郷愁満ちる 田に遊ぶ 倉石譲

朱鷺飛べば 寿命も伸びて 声も出て 倉石譲

朱鷺帰り 我の田んぼも 夕茜 倉石譲

よみがえる 朱鷺に息飲み 空仰ぐ 倉石譲

朱鷺の子に 期待託して 鮮魚買う 倉石譲

絶滅も 佐渡には生きる メダ力たち 聡太郎

孫と子も いもりを見つ 調査かな 外内豊明

生物多様性 ポイント②

「GIAHS(世界農業遺産)」
ジアス

後世に残すべき生物多様性を保全している農業上の土地の使い方や景観について、FAO(国連食糧農業機関)が認定するものです。

佐渡市は、生きものを育む農法や、各農村集落に継承されている伝統芸能などが評価され、平成23年に石川県能登地域と共に日本で初めて認定されました。

重要じゃぞ！



ときめきて 朱鷺舞う佐渡の 日本晴れ 落穂

佐渡の月 映す田毎の サドガエル 落穂

雨の日に 貝の家から こんにちは 鎌倉菖

佐渡ヶ島 大空はばたく きれいな朱鷺 鎌倉菖

ペアつばめ 一方的に 営巣す 川上澄子

コシヒカリ 朱鷺の苗踏み 想定内 川上澄子

朱鷺さえも 外出自粛か 今年暑さ 川上澄子

時重ね 朱鷺の乱舞を 指さす子 カワサン

ワイワイと 生きものさがし 空にトキ 菊池浩子

網持ちて 朱鷺舞うもとで にぎやかに 菊池浩子

朱鷺を見て 時を忘れた 佐渡の旅 となみ

ゆったりと 佐渡を包んで トキ飛翔 つぼみ

五色の 命が繋ぐ ビオトープ みつちよ

佐渡のお米は
美味しいのぉ



生物多様性 ポイント ③

「朱鷺と暮らす郷認証米」

佐渡では、農薬や化学肥料を
少なくし、環境に配慮した米作
りをしています。中でも、朱鷺
と暮らす郷認証米は、田んぼと
その周囲に生息する生きものの
環境を作り出す「生きものを育
む農法」により栽培されている
お米です。



海風ぎて 佐渡の夜空に濃き銀河 思わず息を呑む 美しさ 安田蝸牛

里山を 鳴いて賑わす サドカケス 宮のふみ

青淡き 光の羽衣 ウミホタル 宮のふみ

右左 サドマイマイの 生きる道 佐渡の風来坊

パワフルに サドマイマイの 綱渡り 佐渡の風来坊

土の中 「出たぞ」「出たわ」と サドモグラ 佐渡の風来坊

のびのびと 顔を覗かせ サドモグラ 佐渡の風来坊

梅雨時に どこまで行くや 蝸牛 朱鷺の番が 一瞬に通過 佐渡の風来坊

すくすくと 伸びる稲田に 草は無し 蛙も鳴かず 蛍も飛ばず 佐渡の風来坊

奇岩見て 亭主を見れば いい男 江戸川散歩

踊り出す ほどの美味しさ おけさ柿 江戸川散歩

岩首の 棚田に朝日 満ち溢れ 天空に竜 駆け上がりゆく 江戸川散歩

半切りを 漕ぎ出しゆけば 波もなき 岩場を抜ける ラガーのごとく 江戸川散歩

天気予報 晴れ時々 朱鷺となる

大野裕貴

鯉好きな そんな私は ぶりーだー

大野裕貴

鬼太鼓 豊穰願う トキの島

ナンサン

トキは赤 カエルは黄色 佐渡の足

ナンサン

サドガエル 絶滅させぬ 黄信号

ナンサン

トキが飛ぶ 空を見上げる サドガエル

ナンサン

時忘れ 砂金キラリと 光るトキ

行雲

これぞ佐渡 おかずいらすの コシヒカリ

行雲

天空を 駆けてパノラマ 佐渡を越す

行雲

見つけたよ ポストの色も トキ模様

行雲

ああ佐渡よ 思いで胸に カーフェリー

行雲

星月夜 野道はね行く サドウサギ

有吉一行

コロナ禍に よくぞここまで 佐渡かえる

有吉一行

貴方への 思い透けてる 雪椿

さすがだな イカもイキイキ 僕みたい

おけさ柿 まるで生きてる ような味

イカカニブリ これから旬だ 行きたいな

イカカニブリ 早口言葉に 味しめる

いつの間に 妻は獲れたて イカ美人

子らと江で イモリみつけて ヒーローとなる

サドモグラ 地下に持つてる マイホーム

朱鷺と逢う トキメキ探す 佐渡の旅

アキアカネ 川面を渡り 初デート

コロナ禍に 生きものとたわむれ 癒される

中干しで オタマジャクシ クリのエサ

米作り 課題とヒエが 山積みだ

有吉一行

あべっち

あべっち

あべっち

あべっち

あべっち

Pちゃん

アカエタカ

アカエタカ

一刀両断

伊藤、村川

馬川哲雄

馬川哲雄

コブダイが モテモテすぎる 佐渡の海

エジソンマン

佐渡の人 シベリア風に 負けぬ意気

大須賀一夫

砂金とり 夏に涼しき佐渡の山 人の情けに サザエ頬張る

大須賀一夫

トキがいた みんなでいっぱい 写真とる

大原竜斗

復活の 朱鷺を拗ねている 金山

黒飛義竹

金鉾は ないかと探す サドモグラ

黒飛義竹

長い足 サドノウサギと 裕次郎

黒飛義竹

佐渡にては 佐渡の訛りの ウシガエル

けろね

金色の 目我が娘と同じ ウシガエル

けろね

金色の 目でウインクの ウシガエル

けろね

サドガエル カシヤツとまばたき したような

けろね

鬼太鼓で コロナも参^舞り おそんげえ

けんちゃん

ギョ^魚うさんの 海の宝庫に 目も鱗

けんちゃん

トキが住む 佐渡のひととき ときめいて

里山の サドノウサギが トキ見上げ

美しい 朱鷺が選んだ 佐渡島

家族待つ 家路へ急ぐ トキの群れ

世渡りは ハナタツのよう ゆくらゆら

トキは今 羽を広げて 佐渡渡る

みどりなる キンちゃんの里 生椿

日照りにも 田んぼの力に 助けられ

なつかしき 真野の稲穂や トキの郷

雪の上 月に合掌 サドノウサギ

月からの 使者のようです サドノウサギ

佐渡ヶ島 ウサギとカメの 駆けくらべ

ありとある 佐渡の自然の 生む恵み

けんちゃん

木立慈雨

桜木美津子

佐々木遙

ささゆり

ささゆり

佐渡と名古屋をつなぐ会

佐渡と名古屋をつなぐ会

佐渡と名古屋をつなぐ会

しなやかーる

しなやかーる

しなやかーる

しなやかーる

三密で どじょう、カワニナ さどがえる

幸せの 黄色いお腹 サドガエル

パパはツチ ガエルでママは サドガエル

佐渡の田を メガネ屋にする トンボたち

正解で あっても「ブー」と サドガエル

楽園と ショウジョウトンボも 言っている

固有種が 佐渡の自然の 大使かな

佐渡の雪 サドノウサギと 競う白

サドカケス どんな鳴き声？ 子に聞かれ

密を避け 佐渡の固有種 のびのびと

ステイ佐渡 独自の進化だ サドマイマイ

ダーウィンに 見せたかったな サドガエル

子ツバメの 声のひびける 家の納屋

鈴木達雄

だいちゃんZ！

だいちゃんZ！

だいちゃんZ！

だいちゃんZ！

だいちゃんZ！

だいちゃんZ！

だいちゃんZ！

だいちゃんZ！

だいちゃんZ！

だいちゃんZ！

だいちゃんZ！

高柳光雄

カエルとぶ 他より高く 記録超え

高柳光雄

虫の音 夏のはじまり 持ってくる

高柳光雄

シロクマも そんがにきたけりゃ くればいい

チェミへー985

なんだこりや 和島とそんなに 変わんねえ

チェミへー985

べつにただ 暑くてまるい 邦だった

チェミへー985

さあこいよ 逃げも隠れも しないから

チェミへー985

泳いでも 行ける気がした 佐渡ヶ島

チェミへー985

朱鷺なんて どうでもいいんだ 俺たちは

チェミへー985

桶に乗る なんのためかも わからずに

チェミへー985

好きな子が 寺泊に いたんだよ

チェミへー985

社会にも 欲しいな佐渡の 多様性

テクノボー

ときめきは 君との出会い 佐渡のトキ

とし

佐渡のトキ まなざしを浴びて よく映える

とし

より高く 青田を跳ねる サドガエル

とし

サドガエル 知らぬあなたは お気の毒

とし

コロナ暦 めくる気おこす 佐渡自然

とみこうみ

トンボ飛ぶ 暮れるホテルや 星三つ

中野照夫

朱鷺色に 沈む夕日や 佐渡の海

中野照夫

田のドジョウ トキは自然を 蜻蛉目で

中野照夫

佐渡米の 旨さは噛んだ 客が知り

中原政人

コロナ下にも 佐渡へと靡く 親子連れ 当ては和牛と

佐渡米の味

中原政人

佐渡和牛に 観光客は 靡かされ

中原政人

観光客 佐渡へと草木の 靡き真似

中原政人

あの頃の ままだ：達者の 海の中

成田都輝洋

佐渡甘海老^{ななばん} 元気いっぱい 飛び跳ねる

成田都輝洋

三拍子 揃っています 佐渡の酒

成田都輝洋

忘れたなあ 佐渡のサザエの 角つのの謎

鬼太鼓 激しく跳ねる この動画

尖閣湾せんかくの 遊覧船の 床せどの海

「ニツ亀」 木と木で結ぶ ハンモック

どこまでも 見える達者の 海の中

どこまでも 優しい：だから また佐渡さつどへ

絵になるね 「長手岬」と 白い波

ニツ亀 大忙しの ログハウス

連れ添って 五十年目の 「薪能」

私達 みたいねその 二羽の朱鷺

朱鷺よりも コロナウイルスが 飛びまわる

不要不急 クロサンショウウオ 見習えば

たらい舟 乗る前こっそり ダイエット

成田都輝洋

成田都輝洋

成田都輝洋

成田都輝洋

成田都輝洋

成田都輝洋

成田都輝洋

成田都輝洋

成田都輝洋

成田都輝洋

信田正志

はっぎー

はなばあば

朱鷺が飛ぶ のどかに暮らす 島するとき

朝昼晩 舌がトキめく 金の島

悠久の トキを感じる たらい舟

豊作の 願いを込めて 鬼の舞

牛さんに 生まれを聞けば 佐渡といい

干すだけで 渋いが甘い おけさ柿

優しいね トキも喜ぶ コメ作り

老眼鏡 かけてハチマキ 砂金採り

大丈夫？ 体重気になる たらい舟

ポケモンの ような声して 啼くタゲリ

野兎も 佐渡の顔して 駆け巡る

海の幸 食べて舌肥え 佐渡育ち

詫びはいい 鮑頬張り 仲直り

はなみずき

浜野胡瓜

ぷーちゃん

ぷーちゃん

ぷーちゃん

ぷーちゃん

ぷーちゃん

ぷーちゃん

ぷーちゃん

フーマー

フーマー

ふーみん

ふーみん

山盛りの 牡蠣またたくま 貝の山

サザエ食べ 頭と心 冴え冴えと

スルメイカ かじり脳トレ とまらない

本マグロ 囲みコロナに 打ち勝つぞ

白旗の 代わりハタハタ 揚げ握手

トキを背に 光るひととき 永遠に

佐渡の旅 あれは朱鷺だよ 赤き顔

よみがえり 朱鷺がげんきに 天を舞う

呑み過ぎた 目には棚田に 百の月

サドガエル おけさ節聞き 踊り出し

芭蕉が言う 佐渡のものだよ 天の川

あしたへの 希望はぐくむ 朱鷺が舞う

佐渡米が うま過ぎわたし 痩せられぬ

ふーみん

ふーみん

ふーみん

ふーみん

ふーみん

ふーみん

ほうすい

ほのぼの

ほのぼの

ほのぼの

ほのぼの

ほのぼの

ほのぼの

絶滅の 朱鷺を救った 知恵と技

生息地 拡がれと朱鷺 解き放つ

地区の子へ 能ある佐渡が 受け継がれ

トキを見る 君にトキめき 知った恋

見上げれば 芭蕉も詠んだ 天の川

トキが鳴く 姿と声は 不釣り合い

佐渡おけさ 朱鷺もときドキッ 踊るかな

佐渡の海 夕焼け雲に 渡り鳥

青野地区 闇夜に灯る 蛍かな

トキは今 野生に戻り 佐渡を舞う

照れ染まる 視線の先に 朱鷺が舞う

朱鷺がいる 豊かな自然 ある証拠

朱鷺が住む 島の環境 褒める時

ほのぼの

ほのぼの

ほり・たく

ほり・たく

ほり・たく

本間聡

まっちゃん

まっちゃん

まっちゃん

三木首相

みことのきみ

みどり人

みどり人

水田の 環境守る 朱鷺の島

みどり人

朱鷺だって 住みたくなっちゃう 佐渡の郷

みなころ

守りたい トキも自然も 伝統も

むーむー

トキがいる 場所なら人も 住みやすい

むーむー

大自然 時を忘れる トキの郷

むーむー

トキが舞い 稲穂が揺れる 佐渡の郷

むーむー

「騙された」 タヌキも驚く 美味しい米

むーむー

いいカモと サギがいるけど いい世界

むーむー

コウノトリ トキの赤ちゃん 連れて来い

むーむー

佐渡の米 トンボの眼鏡も かなう味

むーむー

田に光る メダカの学校 泳ぐ子ら

むーむー

トキがいる 未来へ羽ばたく 可能性

むーむー

朱鷺育つ 佐渡は自然も 人もいい

もふもふ

朱鷺ともに 長閑^{のどか}に過ごす 畔歩き

朱鷺群れる 佐渡はまるごと 大自然

朱鷺の郷 島は固有の 宝庫なり

蛸^{ひぐらし}の 声を合図に 朱鷺空へ

佐渡の地の 朱鷺の巣立ちに 安堵して

温かな 佐渡の萤火 S字描く

草を食^はむ うさぎも佐渡と 共生し

青空に 朱鷺の羽音の 響く佐渡

舞い降りる 朱鷺に多くの 優しい目

冬田にも 水張る朱鷺の 愛おしさ

影走る サドノウサギの 地を踏んで

味のある 人になれよと サザエ漁

野分去り 朱鷺も水場に 足はこぶ

もふもふ

もふもふ

もふもふ

もふもふ

もふもふ

もふもふ

もふもふ

もふもふ

もふもふ

もふもふ

もふもふ

もふもふ

もふもふ

雪の上 テンの足跡 点々と

風光り ゆらりゆらりの たらい舟

ゲンゴロウ 見つけどや顔 七歳児

行っちゃダメ トキが棚田で ひそ話し

葉を握り 塩屋蜻蛉が 骨休み

掘った金 価値わからずに 犬戻す

入道雲 もくもく怒る 妻の顔

イライラも 皆吸い込む 佐渡の空

さあ語ろう 佐渡は良いところ たらい船

オレンジの 朱鷺が羽ばたく 佐渡の空

精一杯 暑さ負けずと 蝉の声

にくいけど 満腹で飛ぶ 美しさ

佐渡おけさ サドノウサギも 耳たてる

もふもふ

やーくん

やじろべー

やまっち

やまっち

やまっち

ゆうゆう

ゆうゆう

ゆうゆう

ゆうゆう

ゆうゆう

渡部公正

一歩二歩

おけさ舞う　ごときズワイの　手をかざす

カワセミの　赤くちばしで　雨を乞う

生きものの　楽園佐渡は　ジオパーク

赤はトキ　記は花と金　青は海

トキを呼ぶ　水田はまた　幸を呼ぶ

夕焼けの　空を優美に　朱鷺の舞う

佐渡の夏　朱鷺が田んぼに　餌をもとむ

稲穂揺る　佐渡の誇れる　美味い米

赤とんぼ　佐渡は住み良い　暮らし良い

蛙鳴く　佐渡の長閑な　田んぼ道

石路の　花佐渡に遺れる　能舞台

牧場には　草食む佐渡の　牛の群

散歩道　見上げた空に　朱鷺の舞い

一步二歩

一步二歩

稲岡俊一

稲岡俊一

稲岡俊一

右田俊郎

右田俊郎

右田俊郎

右田俊郎

右田俊郎

右田俊郎

右田俊郎

横手敏夫

隙間なく 朱鷺が羽ばたく 佐渡の空

横手敏夫

夢いっぱい 朱鷺のひな達 テイクオフ

横手敏夫

雨あがり 朱鷺と七色 ショータイム

横手敏夫

雨上がり 虹と朱鷺色 青い空

横手敏夫

朱鷺色に 心ときめく 明日の佐渡

横手敏夫

空狭し 心ときめく 朱鷺の舞い

横手敏夫

空狭し コロナ禍癒す 朱鷺の舞い

横手敏夫

夢に見た 朱鷺色染まる 佐渡の空

横手敏夫

巣ごもりの 心の癒し 朱鷺の舞い

横手敏夫

佐渡の酒 佐渡の魚で OKおけさ

還暦翁

初対面 朱鷺に会えて ご挨拶

岩井壮介

飛翔して 朱鷺の群れなす 佐渡の空

岩井壮介

これからも 自然をまもり 朱鷺守る

岩井壮介

図鑑見て 孫が勉強 朱鷺博士

佐渡米で 朱鷺を育む 郷土愛

佐渡固有 まるで日本の ガラパゴス

赤ちゃんの 笑顔のような おけさ柿

佐渡おけさ 弧描く投網 鮎光る

オリオンを 線で囲めば 佐渡ヶ島

大王を 生かして獲った 定置網

何匹も 海にそびえる 岩の亀

一周が 4日もかかる チャリの旅

竜も住む？ 島の固有種 サド土竜^{モグラ}

青い灯で 渚を染める ホタルイカ

カップルを 浜で迎える 海ホタル

ラブレター 綴る蛍の 草書体

岩井壮介

岩井壮介

吉田誠一

久田幹子

宮野弘子

光源氏

光源氏

光源氏

光源氏

光源氏

光源氏

光源氏

光源氏

カップルの 瞳の中で 舞う螢

光源氏

海面の 逆さ夕陽で 佐渡脚光

好日郎

水張った 棚田も朱鷺の サポーター

好日郎

たらい舟 お客が漕げば 回るだけ

好日郎

黙々と 海水を撒く 塩作り

好日郎

影響 コロナ終わりへ 倍返し

高尾真司

頑張ろう 助ける人を 救います

高尾真司

野球を 負けないチーム 立ち向かえ

高尾真司

サギに喝！ トキにときめき 佐渡詣で

三郎

住み良さを 求めて佐渡に 渡る鳥

山田清一郎

訪ねれば 佐渡島桔梗の お出迎え

山田清一郎

懐かしい 佐渡の夕笛 宿で聞く

山田清一郎

ワンダフル カツオとブリの 佐渡島

山縣敏夫

金とトキ みんな知ってる 佐渡島

山縣敏夫

侘びと寂 能と浄瑠璃 佐渡島

山縣敏夫

貴族武家 町人入れた 佐渡文化

山縣敏夫

知ってます あの歌姫の 佐渡情話

山縣敏夫

ブラボー！ 佐渡のシンボル タライ舟

山縣敏夫

佐渡おけさ 響きが好いね 全国区

山縣敏夫

佐渡米は トキと共生 ロマンだね

山縣敏夫

秋来たる 今年食べたい おけさ柿

山縣敏夫

南北の 植物同居 佐渡島

山縣敏夫

獅子舞に 人形芝居 佐渡島

山縣敏夫

佐渡牛を 食べてみたいね ブランド品

山縣敏夫

旧映画 山椒大夫 見て泣いた

山縣敏夫

佐渡島 萩にもあるな 藪椿

山縣敏夫

佐渡島 天然杉が 聳え立つ

山縣敏夫

妻を見て 「佐渡牛ならば・・・」 ふと思う

糸蜻蛉

テレワーク 佐渡は居よいし 住みよいし

糸蜻蛉

母の字で トキと共存 コメ送る

紫苑

故郷佐渡 隣の家と デイスタンス

紫苑

選択肢 悩むぜいたく 柿と牡蠣

紫苑

金が出た 島の稲穂は 黄金色 その田に立つは トキ色の鳥

紫苑

残したい 生物たちの 多様性 食物連鎖 完結までを

紫苑

幼鳥が いっちようまえに 畦に立つ

春爺

メモに無き おけさの柿を買い足して 故郷の秋 ひとり愉しむ

小見伸雄

佐渡銘酒 差しつ差されつ 共白髪

小見伸雄

夕暮れに 金山あやし 面影が

小坂武弘

トキの声 私元気と 響く春

小坂武弘

佐渡歩く 素顔見えたね なんとなく

暑いのにサドマイマイはよく食べる

昔金 今は稲穂が 目に眩し

イシガメに 負けずゆっくり 佐渡時間

わが季語は 春夏秋冬 おけさ柿

時超えて トキを守る田 守る人

すきあらば 玄関わきの サドガエル

佐渡の人 皆さんいきもの がかりです

自粛明け GOTO佐渡の トキ来たる

サドガエル ビックリするのは ワシの方

足音に バッタ跳び散る 畔の道

虫を見て 旨いはずだよ 土佐の米

美しい トキに農夫の 汗光る

小坂武弘

松下弘美

城門塵

澄海

瀬戸ピリカ

泰平楽

竹子デラックス

中年やまめ

中年やまめ

中野弘樹

中野弘樹

中野弘樹

中野弘樹

網を取り 生きもの探し パパ夢中

共生は 無理かなトキと サドガエル

サドガエル 絶滅危惧種 トキの餌

生きのびろ トキの好物 サドガエル

人とトキ 互いに探す サドガエル

早苗田に キューン・キューンと 何か鳴く

トキが来て 佐渡と富山が つながった

渋い顔 おけさ柿食べ 甘い顔

推しメンは 地下アイドルの サドモグラ

いごねりで ススムお酒と ダイエット

足長い サドノウサギは モデルかな

おしゃべりな 妻を無口に させる力ニ

プロポーズ 黒いダイヤで 安くあげ

中野弘樹

中野弘樹

中野弘樹

中野弘樹

中野弘樹

中野弘樹

貯虎

直蔵

直蔵

直蔵

直蔵

島根のぽん太

島根のぽん太

嫁がなく 泣き暮らしてる 俺とトキ

母ちゃんは 天然杉と いい勝負

帰省して 地酒一本 空にする

甘いのは 孫のしつけと 南蛮エビ

スレンダー 美人しいたけ 食べている

生ガキは 俺にとっては 飲み物だ

トキと嫁 時代変わって 希少価値

おけさ柿 加茂湖のカキも さあどうぞ

くんなかの たわわな実り 佐渡米ぞ

地酒手に 見上げる空に トキの舞い

みかん以外 佐渡にはみんな そろってる

食いしんぼ 大佐渡小佐渡 腹ごなし

佐渡の風 バッタ飛び交う 草いきれ

島根のぽん太

島根のぽん太

島根のぽん太

島根のぽん太

島根のぽん太

島根のぽん太

島根のぽん太

豆風

豆風

豆風

豆風

豆風

働き蜂ちえちゃん

帰省する 心も体も 佐渡の色

オニヤンマ 見つめる青い目 真っ直ぐと

孤島でも 能^農が息づき 時^{朱鷺}が経^発つ

カンゾウの 金の絨毯 扇ぐトキ

カンゾウの 金の笑顔と 進むトキ

カンゾウが 金の旗振り 巣立つトキ

尖閣湾 ドラマじゃ犯人 自白する

「びんこーぶって ぶすいろんかったーさー」 「はっ？」

寒と暖 受け入れ流れる 佐渡の海

なにげない あのトキが今は ありがたき

平安の トキを戻そう 佐渡の空

墓参り お前も来てたか アマガエル

シマヘビの 気配でひるむ 大男

働き蜂ちえちゃん

働き蜂ちえちゃん

南空

南空

南空

南空

馬場鈴代

馬場鈴代

馬場鈴代

八神和輝

八神和輝

板垣光行

板垣光行

つき合えと 玄関先の オニヤンマ

ハロウインの 群れに入りたい ツチガエル

アマガエル 窓から夕げ のぞきこむ

カメムシの 田舎暮らしも 悪くない

蛍灯の ともる小川の 町静か

ときが舞う 佐渡の天空 夢馳せる

コウノトリ 今年もうちに 幸せを

トキの舞う 夕焼け空に 星一つ

南限も 北限もあり 花の島

トキは今 野生復帰へ 羽ばたいて

この島の 空しか知らず 佐渡うさぎ

多様性は いのちの証し サドガエル

耳もとで 新種の蜘蛛と 蚊が笑う

板垣光行

板垣光行

板垣光行

板垣光行

板垣光行

姫野俊治

姫野俊治

姫野俊治

明智蜜日出

明智蜜日出

鈴木良二

鈴木良二

鈴木良二

トキめきが トキ^時を経て増え 佐渡に住む

白鳥と 共に仰ぐは 金北山

佐渡島が ぎっしり詰まる グルメ井

幻想と 神秘に逢いに 竜王洞

佐渡の粹 ゆったりゆらゆら たらい舟

和の粹を 沢根だんごで 賞味する

旨過ぎて 銘酒に浸り 泊延長

スルメイカ スミイカ・ヤリイカ イカす味

あな不思議^穴 自然のいたずら 平根崎

日蓮の 内面深し 佐渡の冬

いごねりを 食べて帰省を 実感し

夕日落つ 尖閣湾に ことば無し

絶妙の 加茂湖の牡蠣に 舌唸る

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

カンゾウも 大きな口開け 「ウエルカム」

天の川 特等席の 佐渡で見る

ミネラルも 愛も詰まった 佐渡の米

「末永く！」 新婚拝む 夫婦岩

旬躍る 佐渡は魚介の 竜宮城

鉄人を 育て支える タフな島

ジューシーを 味わいたいなら おけさ柿

干満で 人を魅了の ニツ亀

生サラミ へんじんもっこの 粹な味

佐渡に来て 「楽しい」溢れる 金のトキ^時

ひと口で 「西洋」感じる ル・レクチエ

古いこと？ 人形芝居は 未来の芽

牡蠣殻の 山に水鳥 映えて冬

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

燃える赤 黒イチジクに ギュツと詰め

黄金が 心に映える 千枚田

S a dじやなく H a p p yあふれる 夢の島

うん、うまい！ 南蛮^{ナンバン}エビは N O^{ナンバー}ー

弁慶に 挑戦してみる はさみ岩

ひまわりの ように咲きたい 明日へ向く

佐渡に来りや かにもかくにも ズワイガニ

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

マコツチャン

イラスト川柳部門 応募作品

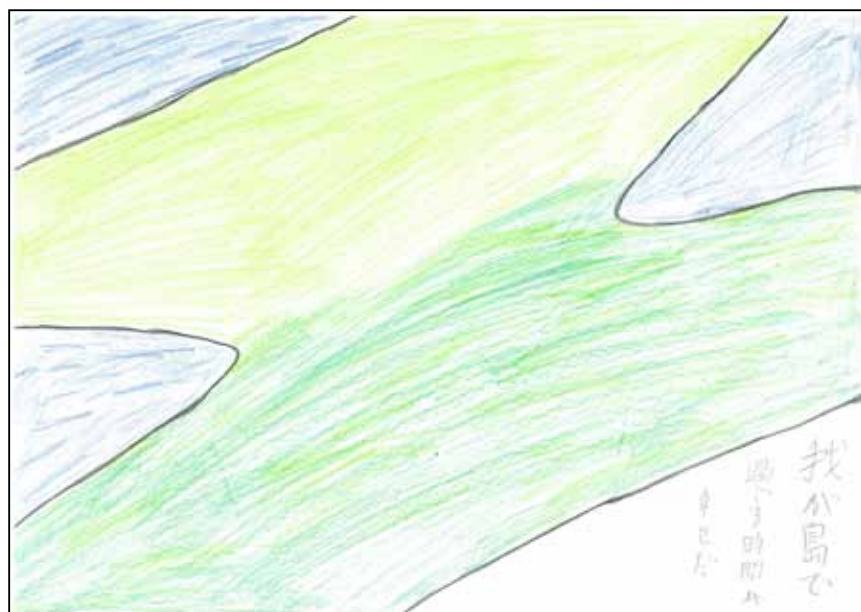
大蔵想

(佐渡保育専門学校)



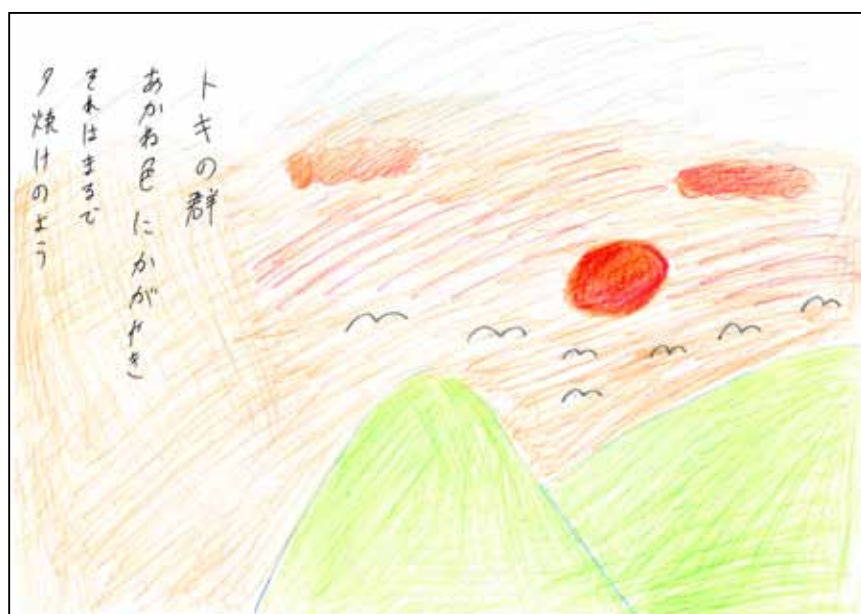
石塚健人

(佐渡保育専門学校)



葛原優華

(佐渡保育専門学校)





わかば
(佐渡保育専門学校)



三郎
(千葉県)



中年やまめ
(神奈川県)



「はばたけ」

シロ（佐渡保育専門学校）



「みらいへはばたくトキ」

鎌倉菖（さど里山こびりい隊）

フォト川柳部門 応募作品

草刈りを終えて 自然の庭園 満喫す！

北見好信

(佐渡市)



かけっこの 相手は田んぼの オニヤンマ
ウタ (佐渡市)

エッセイ部門 応募作品

「今後」

「朱鷺が舞う空」に想いをはせた人々は、どんな結末を望んだのだろうか。佐渡の空に多くの朱鷺が舞うことだろうか。野生に朱鷺を帰すことだろうか。2つとも正解なんだろうと思う。しかし、今の現状はどうだろうか。田んぼ農家の高齢化、かつての農薬散布により生態系の変化、田んぼの減少。様々な問題が上がっている中、農薬の問題というのは改善に向かっていくのだろうか。しかし、農薬により、失ってしまった生態系はいつ戻ってくるのだろうか。高齢化問題はどうか解決するのだろうか。朱鷺が自然復帰しつつあるからもういいや」ではなく、サドガエル、ホタル、ゲンゴロウなど朱鷺のエサ場や「朱鷺は綺麗だから虫はいらないよ」では無く、虫や生態系にももっと目を向けるべきではないのだろうか。朱鷺の減らない、佐渡特有の生態系を維持していくべきではないだろうか。

ホミカド

（佐渡保育専門学校）

「佐渡」

この愛すべき日本海の島」通い続けて40年。

佐渡はふるさと。病気になった。家族以上に心配してくれた。ごめんね、行かれなくて。でも、必ず帰る。待たないで、待ってて。大好きな佐渡には沢山の人がいるけど、私たちは出会ったんだね。本当によかったね。佐渡さん、ありがとう。

佐渡と名古屋をつなぐ会

(愛知県)

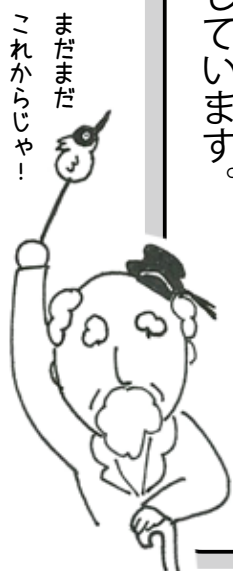
生物多様性ポイント④

「トキの野生復帰」

昭和56年、野生トキ5羽の一斉捕獲から27年が経った平成20年9月、佐渡の空にトキが再び飛び立ちました。

平成24年には放鳥したトキからヒナが誕生、平成28年には野生生まれ同士のペアから純野生のヒナが誕生しました。

毎年2回の放鳥と、野生下で生まれたトキを合わせ、令和2年12月31日現在、野生下には約442羽(推定)のトキが生息しています。



その他部門 応募作品

GIAHSの島

豊かな生きものの達の楽園です

小濱加一郎

(佐渡市)

2019

朱鷺と暮らす郷の仲間たち

小濱加一郎

(佐渡市)

カエルとトンボの微笑ましいツーショットです



おやおや カエルが徐々に間合いを詰めていきます?

まさか!?!と思った瞬間!!



残念!! カエルの狩りは失敗に終わりました

GIAHSの島 豊かな生きものの達の 楽園です

2019朱鷺と暮らす郷の仲間たち



クモの調査 きれいに網を張ってます



まるでミシンで縫ったような跡ですね(笑)



上手に小型の昆虫を捕まえていました



ぼやぼやしてたら捕まえられますよ～(笑)



カマキリが睨み「ナニ見てんだよ(怒)」って



おっとっと? 足元注意!!

2019朱鷺と暮らす郷の仲間たち



沢田研二か?「朱鷺のサギゆくまゝに」(爆)



今年もやってきました チョウトンボ(笑)



しかも一度に6匹も?



更に!! 初めて傘を観ました



「水不足 百姓の心へし折る!」(涙)



アカネ類のヤゴかな?

2019朱鷺と暮らす郷の仲間たち



「朱鷺色が 映える我が田の 水鏡」



おっ!! カワセミブルー?



違いました オオルリと教えられました



田植えも済ませ次へのリセット

「オオルリや 長旅密せ 朱鷺の島」



おじいさん、枯れ木に朱鷺を映かせてネ

「夕映え背に 田仕事忘れる 太公望」



物陰に隠れ近い距離でバチリ(笑)

2019朱鷺と暮らす郷の仲間たち



1月の夕暮れ「私も仲間に入れて下さい」



猛禽現る 鷹? 隼?

と、見たこともない鳥が現れました!?



大型ではありませんが朱鷺を襲いませんか?



澄みきった青空に朱鷺 善かな?



田んぼにやってきました 繁殖羽が特徴です



用水は岩魚の棲む清流から直接田んぼに



佐渡 Kids 生きもの調査隊



Kidsのお米は、毎年自然栽培（無農薬・無肥料）で育てています。新型コロナウイルス感染症により Kids 活動も危ぶまれましたが、島内は落ち着いたため、皐月の青空のもとで田植えをすることができました！



4月は、島内一斉休校に伴い Kids 活動も自宅活動に。「指令書」と「バケツ稲グッズ」がドライブスルーで配布されました。

今年度で13年目を迎えた「佐渡 Kids 生きもの調査隊」は、佐渡島内の小学3年生から中学生を対象に、畦ぬりから米売りまでの米づくりの一連を体験し、お米のことや生きものについて、そして田んぼ・生きもの・人とのつながりについて学んでいきます。また、他地域の子供たちとの交流を通して、その土地の文化や田んぼ、生きものについて学び、地元である佐渡について考える活動を行っています。



6月は汗かきながらの草とり。「とことん生きもの調査」も開催！



9月、黄金に実った Kids 米を収穫。はざがけ天日干しをします。



10月、お天道様によって乾いたお米を脱穀します。昔懐かし千歯こぎも Kids はお手のもん。



11月、米売りの前に自分たちが育てた米を味わう「収穫祭」。ぬか釜で炊飯します。



11月、Kids 米売り。今年は Kids 隊員の保護者限定での販売となりましたが、80kg 完売！

Kids による米づくりの活動舞台は、田んぼだけではありません。お米を育てるだけでなく、美味しく食べてもらうまでが「米づくり」です。例年は佐渡島内開催の「地産・地消フェスタ」で来場者のみなさんに販売しますが、今年は新型コロナ対策により、お客さんは隊員の保護者に限定して米売りを行いました。どのような米袋のイラストにしたらお客さんが Kids のお米に興味を持って買ってもらえるだろうか、自分たちの活動をどのような文章と写真にしたら伝わるだろうか、うーんうん悩みながら、米袋のイラスト描きや「田んぼ日記2020」づくりを行いました。

※ Kids 隊員の米袋イラストは、53ページ以降に掲載されています。



佐渡 Kids 生きもの調査隊

検索



佐渡Kids生きもの調査隊

米袋イラスト

池延凜太郎



伊藤蒼

※佐渡Kids生きもの調査隊が育てたお米を販売する際に、自分たちで描いた米袋のイラストです。



宇佐見優奈



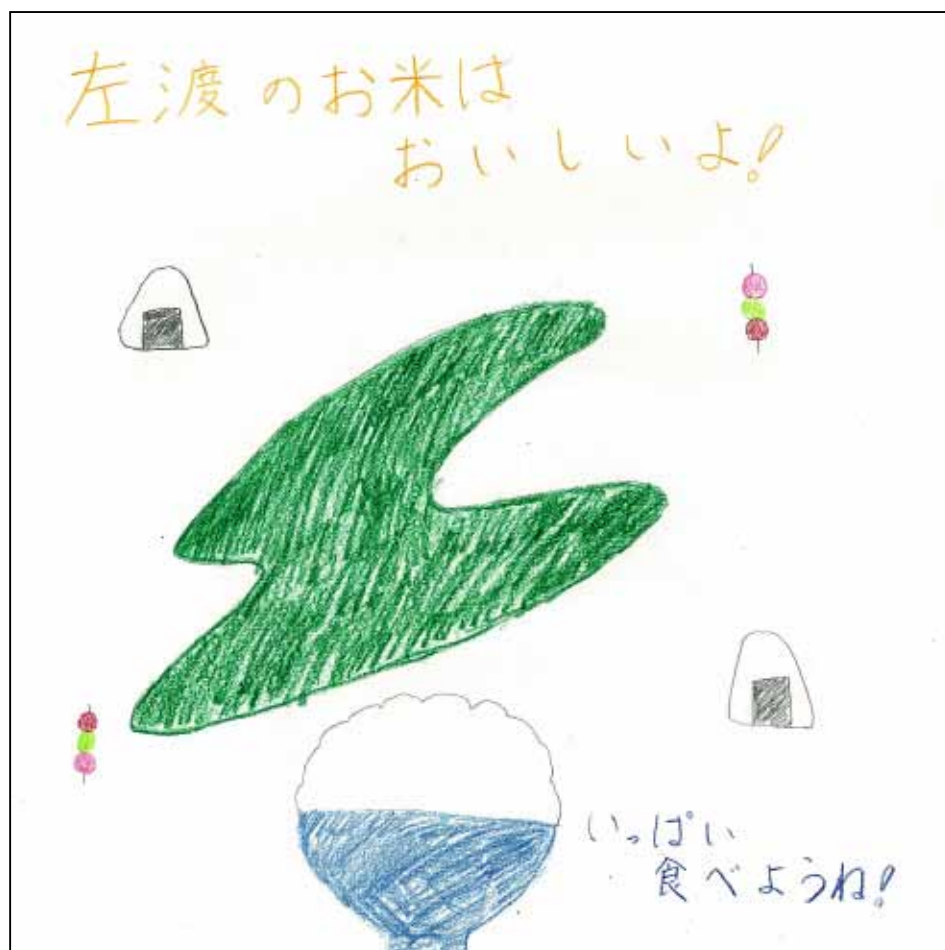
宇治美花望



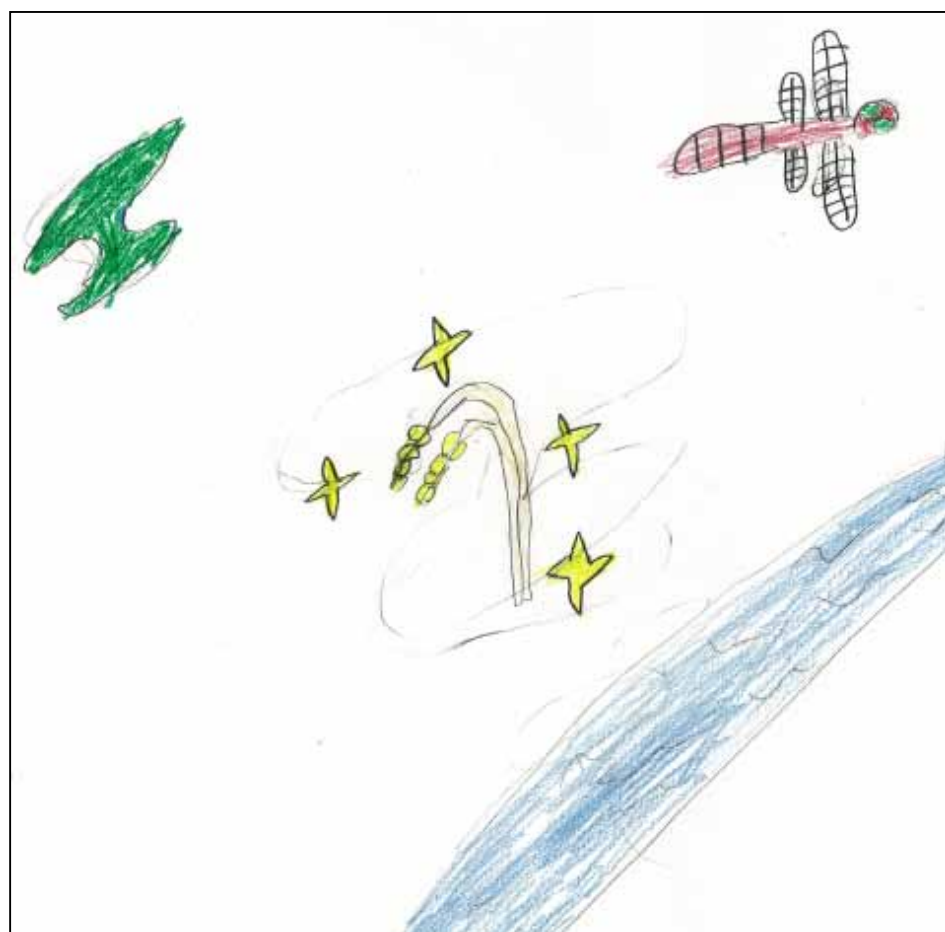
宇田大城



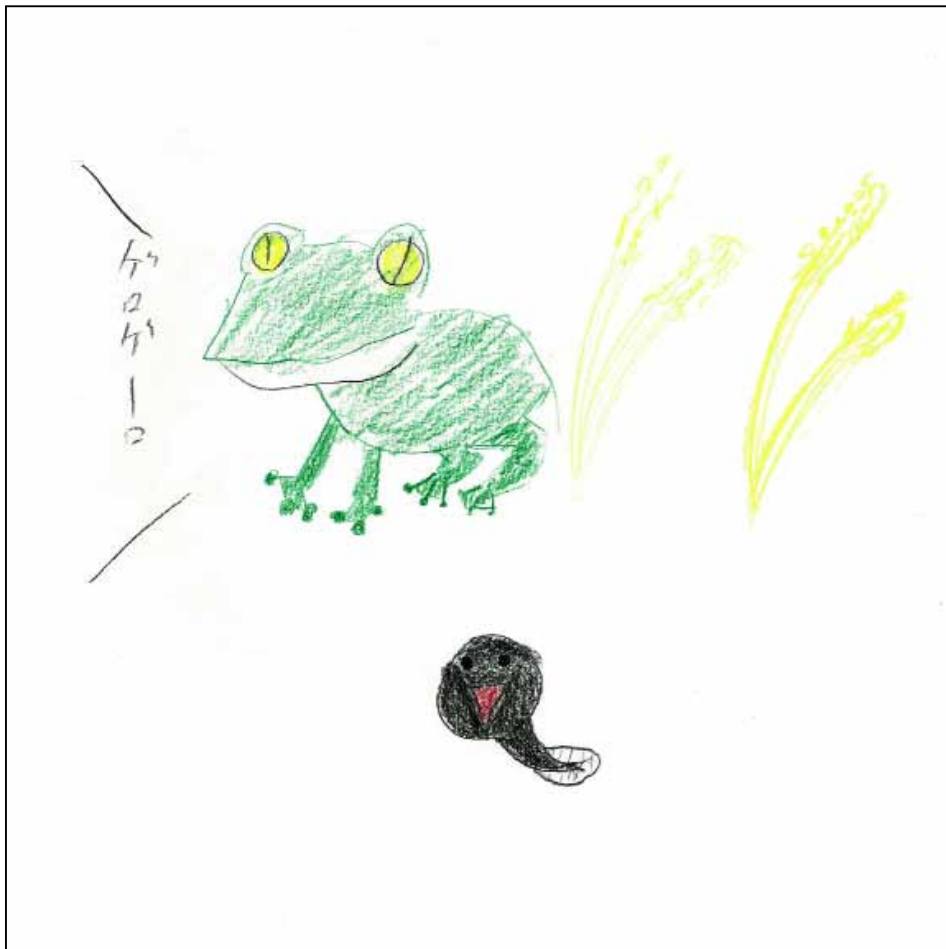
遠藤芳徳



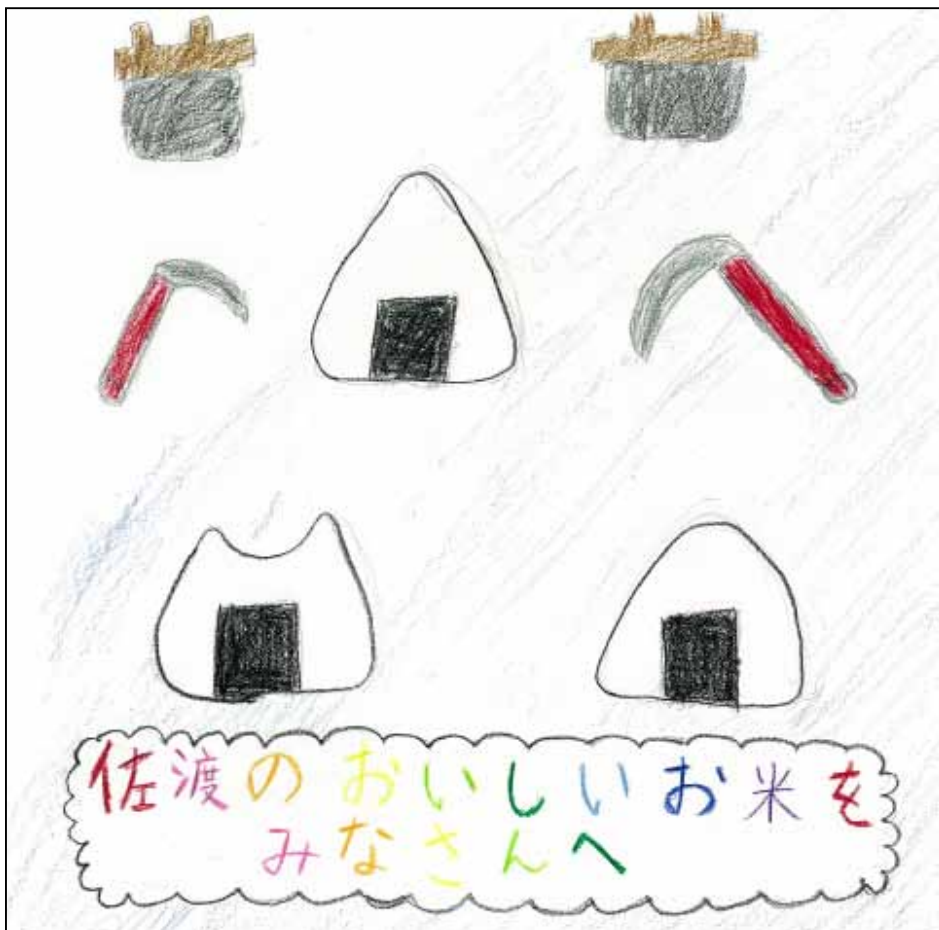
菊池叶望愛



菊地悠斗



小林幹



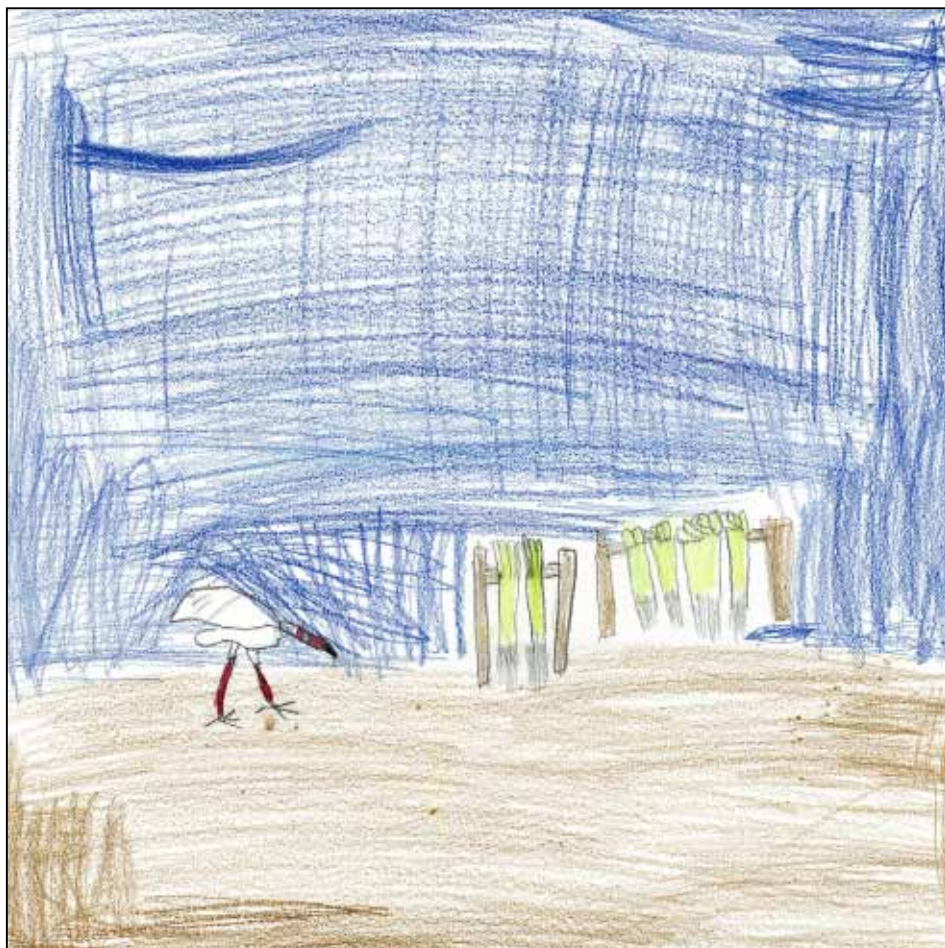
小宮山ちひろ



近藤陽毬



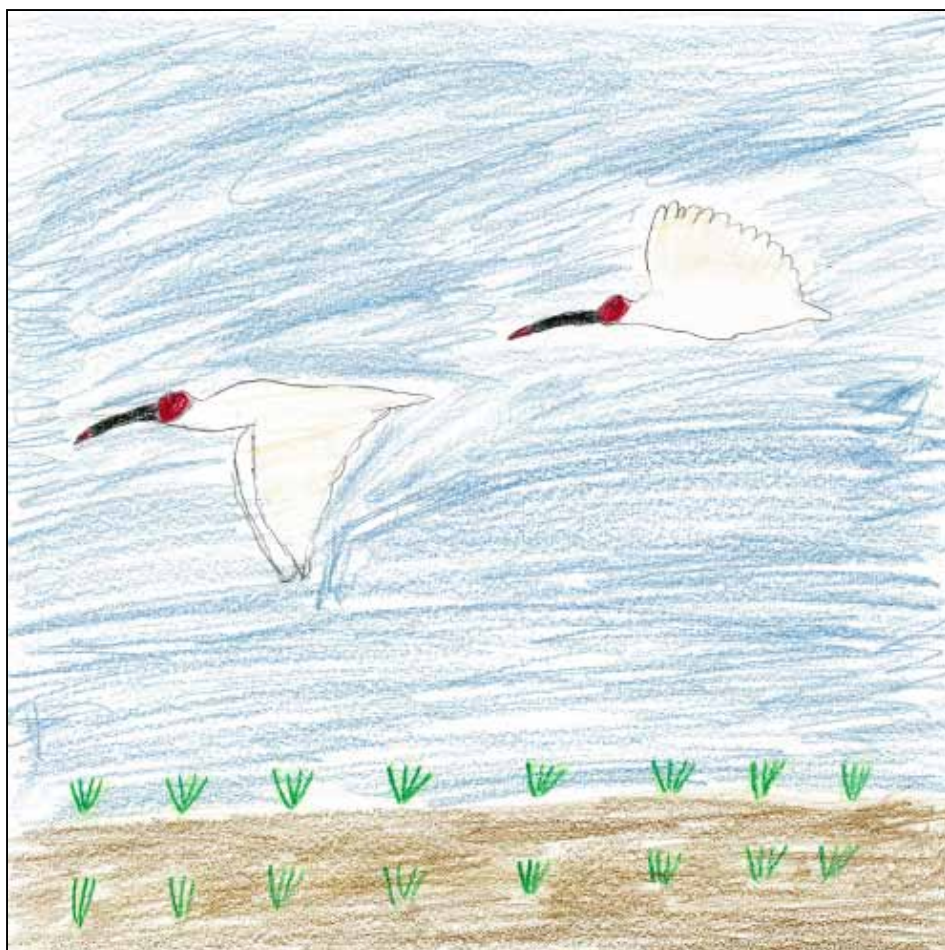
齋藤啓太



酒井敦史



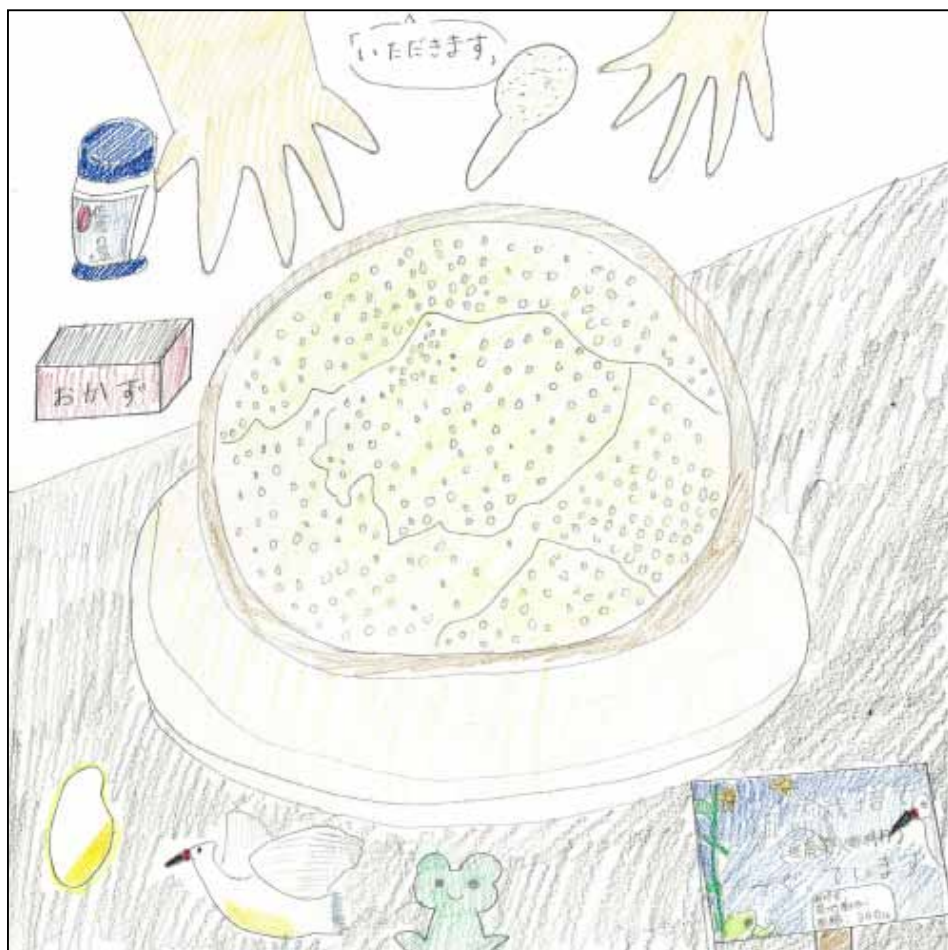
佐々木歩実



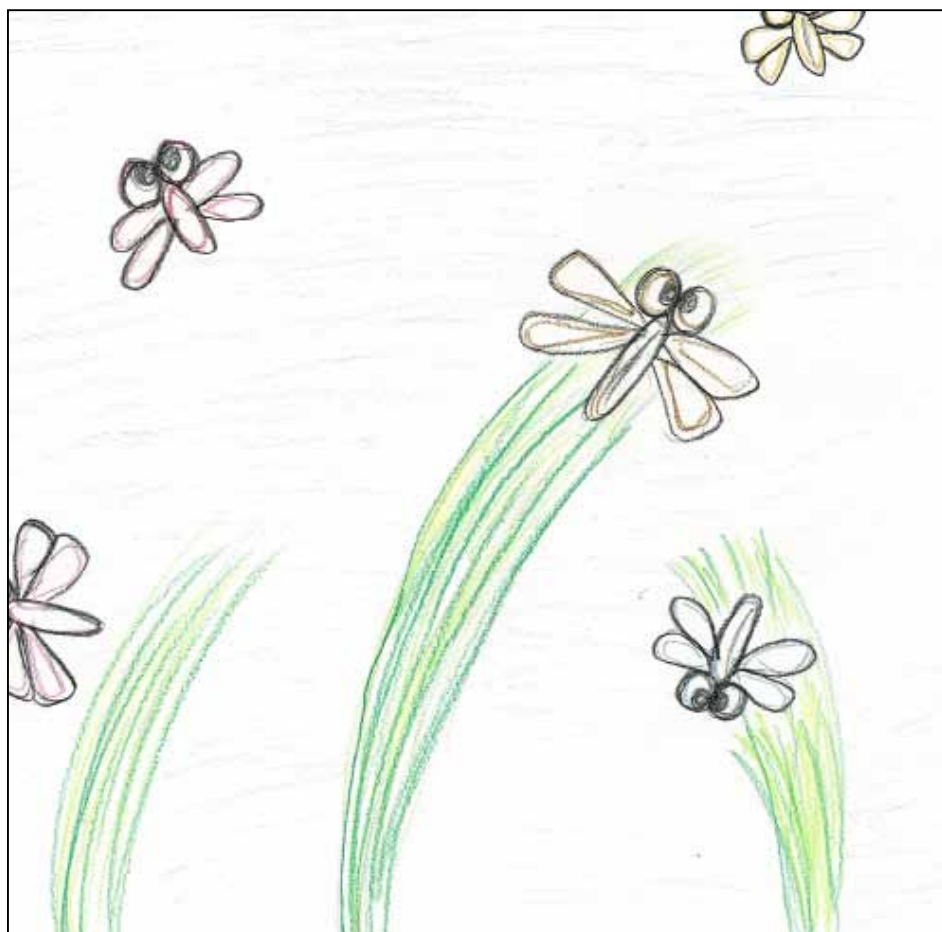
佐々木陽士



佐藤碧琉



佐藤青空



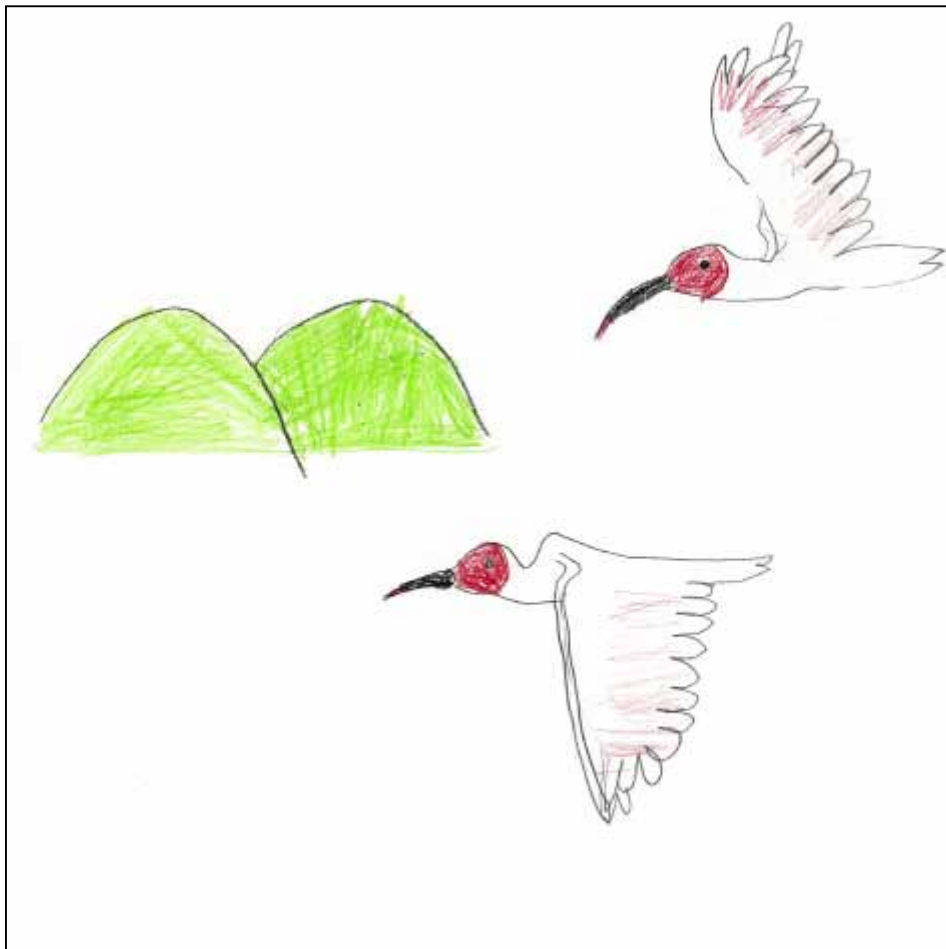
佐藤埜愛瑠



佐藤夢琉



高橋朋輝



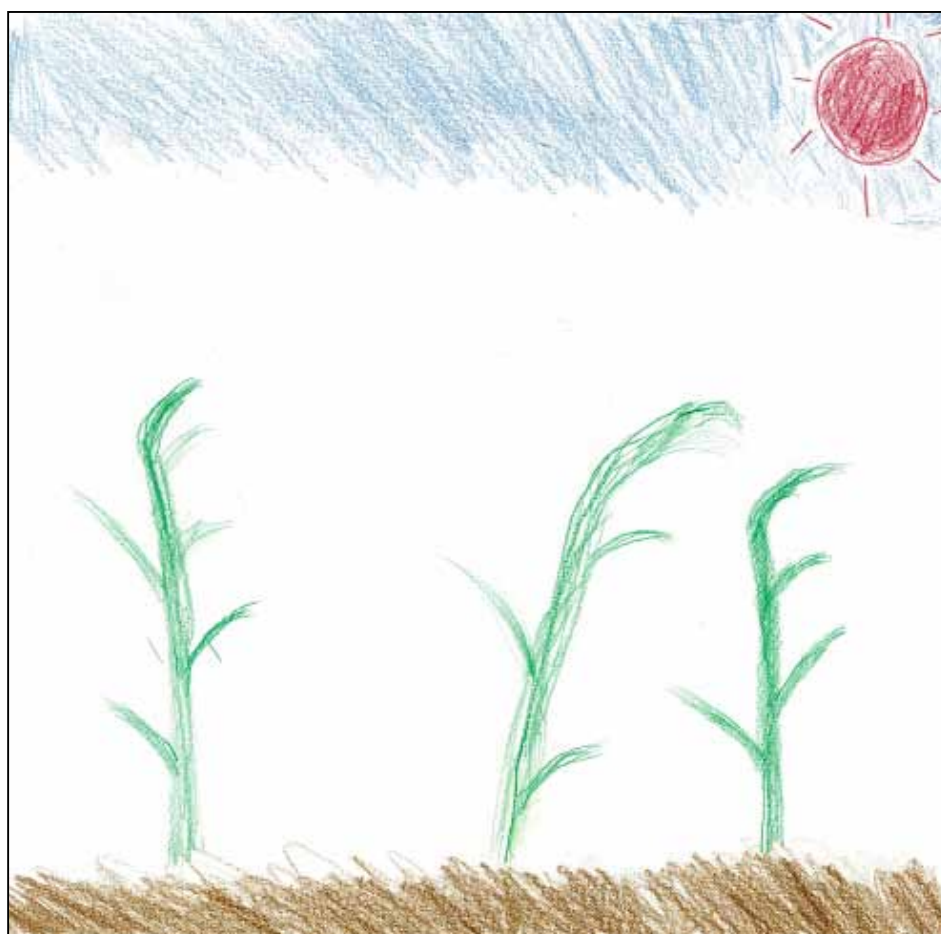
高橋悠真



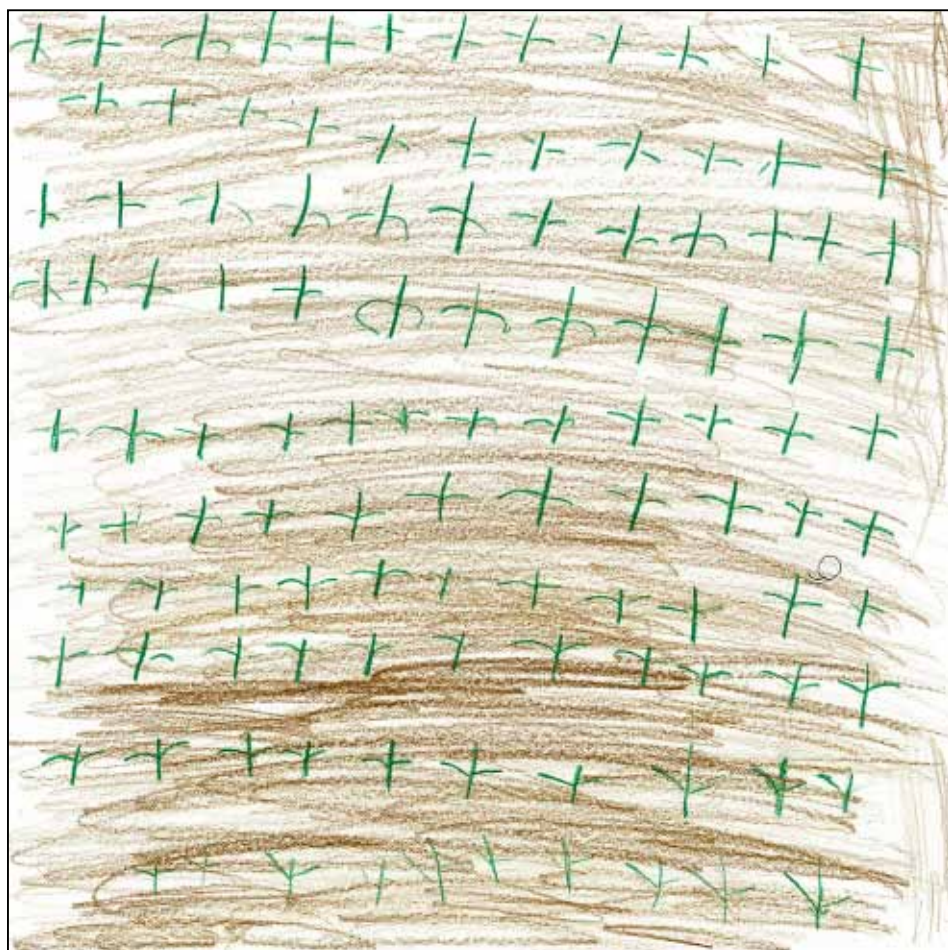
田村莉愛



渡嘉敷那月



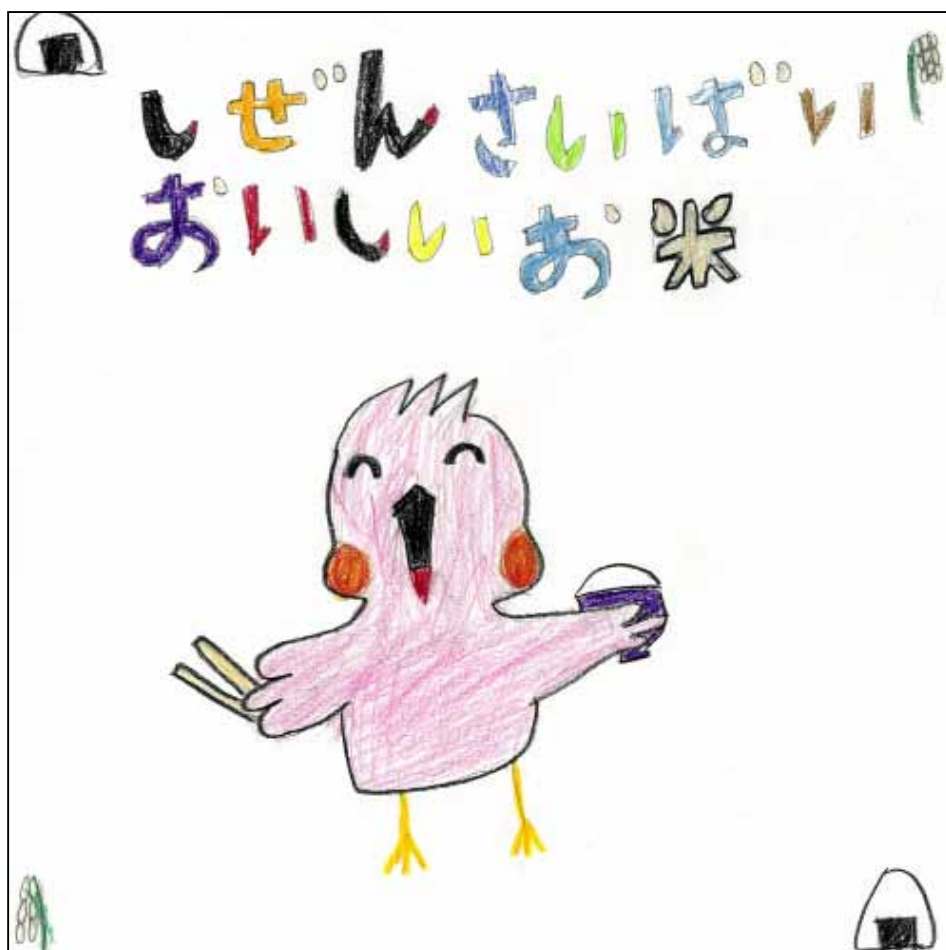
中川瑛斗



中川李星



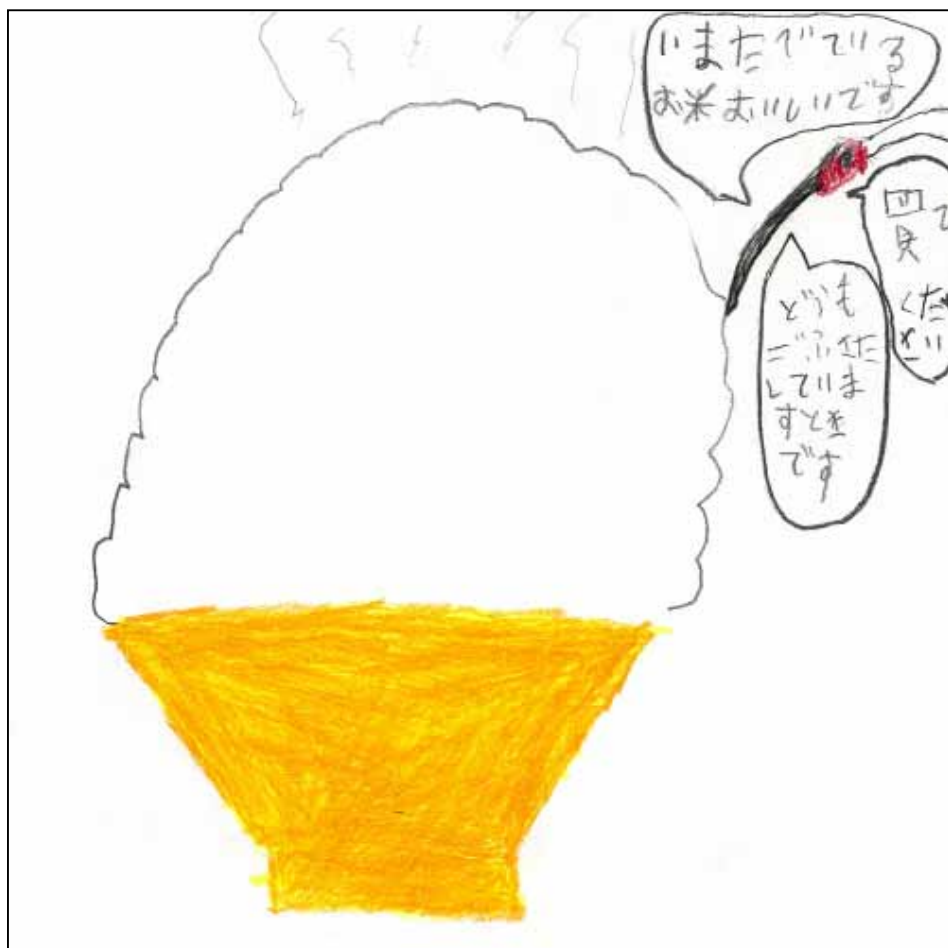
畠山ルナ



藤井結衣



藤井玲那



ブリニョ・エメ



祝紘太郎



満尾昂太



トキと暮らす島

生物多様性佐渡戦略

【基本理念】

生物多様性が育む佐渡の豊かな自然と暮らしを保全・再生する

.....

佐渡で暮らす私たちと多くの生きものが共生する環境は、長きに渡り培われてきた豊かな自然、歴史、文化について市民一人ひとりが「知る・守る・使う」ことによって、保全・再生されるものです。

この「知る・守る・使う」に対応した3つの基本目標を設定し、積極的に推進する施策を定めています。

知る

「佐渡の生物多様性豊かな環境を市民一人ひとりが理解する」

私たちの健康で豊かな生活は、自然から多くの恩恵を受けている事を自覚することが大切です。将来に渡って佐渡の生物多様性豊かな環境を保全・再生していくためには、まず、私たち一人ひとりが佐渡の環境について十分理解し、後生に渡って継承して行くことが必要です。

佐渡市の取組み

- ・ 生物多様性に対する市民理解の促進
- ・ 組織・団体間のネットワークの構築
- ・ 企業CSR活動の参画促進
- ・ 大学等との連携による人材育成の促進

自分が出来る範囲で
やってみるのじゃ！



守る

「生物多様性の損失を食い止め佐渡本来の生態系を回復する」

私たちは生活の安全性や効率化のもとに様々な開発を進めてきました。結果、佐渡各地の自然環境に依存し生息していた在来生物は住みかを失い、その個体数は減少してきています。今後、生物との共生を図る整備を進めなくてはなりません。

また、佐渡には本来生息・生育していなかった生物が持ち込まれ、佐渡固有の生物相と生態系に対する大きな脅威となっています。深刻化する前に、適切な対策を実施し、生物多様性の損失を食い止めなければいけません。

佐渡市の取り組み

- ・在来種の保全・保護
- ・生態系に悪影響を及ぼす生物への対応強化
- ・多様な生物が生息・生育できる環境の保全・再生

使う

「生物多様性の恵みを持続的に享受する地域社会を構築する」

佐渡はG I H A S（世界農業遺産）に認定されました。佐渡の農村文化や伝統芸能、里地・里山の美しい自然景観を次世代へ継承していくためには、持続発展的な農業農村の活性化が最重要課題となっています。

佐渡で育まれる生物多様性の恵みを持続的に享受しながら、活力ある経済・社会活動を実施し、若者が定住・定着できる社会づくりを行っていくことが現代の私たちに求められています。

佐渡市の取り組み

- ・環境と経済が好循環する産業の育成
- ・環境負荷の少ない循環型社会づくりの促進

「トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略」より 詳しい内容は、佐渡市ホームページまたは冊子をご覧ください。
トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略 <https://www.city.sado.niigata.jp/admin/vision/biodiversity12/pdf.shtml>

編集後記

2020年は新型コロナが世界中に猛威を振るい、これまでの日常が奪われた年になりました。例年たくさんの人たちが集まって楽しく行っていた田んぼアートの田植えも、密を避け、限られた人だけでなんとか植えました。

佐渡生きものの語りに関しても、最優秀作品を決める方法に見直しが必要となりました。これまで11月の「JA佐渡ふれあいアッセまつり」という賑やかなイベントに出展して、来場者による人気投票で最優秀作品を選んでいましたが、今年はイベントが中止。そこで認証米農家さんにノミネット作品を郵送して、人気投票をお願いしました。どれくらいの方に協力していただけるか心配でしたが、ファックスでお返事をいただいたり、地域の行政サービスセンターに持参していただいたりして100人近い方々が投票してくださいました。本当にありがとうございます。さらに島内のスーパーマーケット2店舗でも人気投票を行い、約300人の方にご協力いただきました。これらを集計して今年のグランプリ・準グランプリ作品が決まりました。

お寄せいただいた作品について、「今年はトキだけじゃなく、サドガエルやサドモグラ、サドマイマイなど、他の生きものが目立ったね」と感想をおっしゃるノミネット選

考委員の方がいました。「いろいろなキャラクターで佐渡の生物多様性をPRするのも面白いね。」とも。

トキの野生復帰は、トキを増やすだけではなくいろいろな生きものを増やす生物多様性の取り組み。それが伝わる作品集になればと思います。

作品をお寄せくださった方々、審査や人気投票に協力してくださった方々、本当にありがとうございました。

一般社団法人 佐渡生きものの語り研究所

理事長 仲川純子

佐渡生きものの語り2020

部門別作品数

川柳部門	449作品
イラスト部門	2作品
イラスト川柳部門	8作品
フォト川柳部門	2作品
エッセイ部門	3作品
その他	2作品
合計	466作品

佐渡生きものの語り 2020 作品集

発行日

2021年 3月

発行

佐渡市・朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会

イラスト

K a n a k o (ドクターイキモン)・「トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略」

写真

齋藤真一郎・大石麻美

編集・印刷レイアウト

大石麻美

印刷・製本

新穂印刷

お問合せ先

〒952-0103

佐渡市新穂潟上1101-1 トキ交流会館2階

一般社団法人 佐渡生きものの語り研究所

TEL 0259-22-2658 (FAX兼)

<https://sado-ikimonoken.jp>

E-mail : ikimon@sado-ikimonoken.jp

ノミネート選考委員(順不同・敬称略)

大石惣一郎 佐渡棚田協議会 会長

澤栗浩明 環境省 佐渡自然保護官事務所 首席保護官

本間皓 J A 羽茂 組合長

金子聡 佐渡市役所 農業政策課 課長

渡部学 朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会 会長

大井克巳 一般社団法人 佐渡生きものの語り研究所 理事